加え、よく振り混ぜた後、全量ピペットを用いて試料溶液１mLを加え、よく振り混ぜ、さらに、全量ピペットを用いて0.05mol／Ｌヨウ素液５mLを加え、よく振り混ぜ、以下同様に操作し、その滴定量をＢmLとする。

$$1\text{ｇ中のペクチン糖化力単位}=〔(B-A)\times 2-3〕\times 0.01\times 513\times\frac{1}{W}$$

Ｗ：試料溶液１mL中の試料の量（ｇ）

⑪・⑫　（略）

⒂～㊴　（略）

7　飼料添加物一般の試験法並びに各飼料添加物の成分規格及び製造方法等の基準に用いる標準品、試薬・試液、容量分析用標準液、標準液、色の比較液、計量器・用器、ろ紙、滅菌法及びベルトラン糖類定量表の規定

⑴　（略）

⑵　試薬・試液

（略）

亜鉛（標準試薬）～塩酸試液、６mol／Ｌ　（略）

塩酸試液、３mol／Ｌ　塩酸270mLに水を加えて1,000mLとする。

塩酸試液、2.5mol／Ｌ～クロラムフェニコール　（略）

ｐ―クロロフェノール　ClC_6H_4OH　無色～僅かに赤色の結晶又は結晶の塊で特異な臭いがある。エタノール、クロロホルム、エーテル又はグリセリンに極めて溶けやすく、水にやや溶けにくい。

融点・含量　（略）

定量法　本品約0.2ｇを0.001ｇの桁まで量り、その数値を記録し、水を加えて溶かし、100mLの全量フラスコに入れ、更に水を標線まで加えて100mLとする。この溶液25mLを全量ピペットを用いて量り、ヨウ素瓶に入れ、0.05mol／Ｌ臭素溶液20mLを全量ピペットを用いて加え、さらに、塩酸５mLを加え、30秒以内に密栓し、30分間しばしば振り混ぜ、さらに、15分間放置する。次に、ヨウ化カリウム溶液（１→５）５mLを加え、30秒以内に密栓し、よく振り混ぜた後、0.1mol／Ｌチオ硫酸ナトリウム溶液で滴定する（指示薬　デンプン試液１mL）。同様の方法で空試験を行う。

0.05mol／Ｌ臭素溶液１mL＝3.214mgC_6H_5ClO

クロロホルム～ヨウ素酸カリウム・デンプン紙　（略）

ヨウ素試液　ヨウ素14ｇ（13.5～14.4ｇ）をヨウ化カリウム溶液（２→５）100mLに溶かし、希塩酸１mL及び水を加えて1,000mLとする（0.05mol／Ｌ）。遮光して保存する。

ヨウ素酸カリウム～リン酸塩緩衝液、pH7.0　（略）

リン酸塩緩衝液、pH7.0、比旋光度測定用　１mol／Ｌリン酸二水素カリウム試液50mLに１mol／Ｌ水酸化ナトリウム試液を加えてpH7.0±0.1に調整し、水を加えて100mLとする。

リン酸塩緩衝液、pH7.5～リン酸二水素カリウム、pH測定用　（略）

リン酸二水素カリウム試液、１mol／Ｌ　リン酸二水素カリウム136.1ｇ（136.05～136.14ｇ）に水を加えて溶かし、1,000mLとする。

リン酸二水素カリウム試液、0.1mol／Ｌ～レゾルシン　（略）

⑶　容量分析用標準液

（略）

調製～0.017mol／Ｌ重クロム酸カリウム溶液　（略）

0.05mol／Ｌ臭素溶液

1,000mL中臭素（Br_2：159.80）7.990ｇを含む。

調製・標定　（略）

加え、よく振り混ぜた後、全量ピペットを用いて試料溶液１mLを加え、よく振り混ぜ、さらに、全量ピペットを用いて0.1mol／Ｌヨウ素液５mLを加え、よく振り混ぜ、以下同様に操作し、その滴定量をＢmLとする。

$$1\text{ｇ中のペクチン糖化力単位}=〔(B-A)\times 2-3〕\times 0.01\times 513\times\frac{1}{W}$$

Ｗ：試料溶液１mL中の試料の量（ｇ）

⑪・⑫　（略）

⒂～㊴　（略）

7　飼料添加物一般の試験法並びに各飼料添加物の成分規格及び製造方法等の基準に用いる標準品、試薬・試液、容量分析用標準液、標準液、色の比較液、計量器・用器、ろ紙、滅菌法及びベルトラン糖類定量表の規定

⑴　（略）

⑵　試薬・試液

（略）

亜鉛（標準試薬）～塩酸試液、６mol／Ｌ　（略）

（新設）

塩酸試液、2.5mol／Ｌ～クロラムフェニコール　（略）

ｐ―クロロフェノール　ClC_6H_4OH　無色～僅かに赤色の結晶又は結晶の塊で特異な臭いがある。エタノール、クロロホルム、エーテル又はグリセリンに極めて溶けやすく、水にやや溶けにくい。

融点・含量　（略）

定量法　本品約0.2ｇを0.001ｇの桁まで量り、その数値を記録し、水を加えて溶かし、100mLの全量フラスコに入れ、更に水を標線まで加えて100mLとする。この溶液25mLを全量ピペットを用いて量り、ヨウ素瓶に入れ、0.1mol／Ｌ臭素溶液20mLを全量ピペットを用いて加え、さらに、塩酸５mLを加え、30秒以内に密栓し、30分間しばしば振り混ぜ、さらに、15分間放置する。次に、ヨウ化カリウム溶液（１→５）５mLを加え、30秒以内に密栓し、よく振り混ぜた後、0.1mol／Ｌチオ硫酸ナトリウム溶液で滴定する（指示薬　デンプン試液１mL）。同様の方法で空試験を行う。

0.1mol／Ｌ臭素溶液１mL＝3.214mgC_6H_5ClO

クロロホルム～ヨウ素酸カリウム・デンプン紙　（略）

ヨウ素試液　ヨウ素14ｇ（13.5～14.4ｇ）をヨウ化カリウム溶液（２→５）100mLに溶かし、希塩酸１mL及び水を加えて1,000mLとする（0.1mol／Ｌ）。遮光して保存する。

ヨウ素酸カリウム～リン酸塩緩衝液、pH7.0　（略）

（新設）

リン酸塩緩衝液、pH7.5～リン酸二水素カリウム、pH測定用　（略）

（新設）

リン酸二水素カリウム試液、0.1mol／Ｌ～レゾルシン　（略）

⑶　容量分析用標準液

（略）

調製～0.017mol／Ｌ重クロム酸カリウム溶液　（略）

0.1mol／Ｌ臭素溶液

1,000mL中臭素（Br：79.90）7.990ｇを含む。

調製・標定　（略）